**令和元年度　第１回芽室町総合保健医療福祉協議会**

**『高齢者・介護部会』質疑回答書**

**（２）指定地域密着型（介護予防）サービス事業者の指定…資料１**

**（３）指定地域密着型（介護予防）サービス事業者の指導監査状況…資料２**

　　　質疑等なし

**（４）第７期後期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（２年目）の進捗状況**

**…資料３、資料４**

評価指標については、2018(平成30)年度は３月末、2019(令和元)年度は１月末実績となるため、数値上では減少しているように表示されているものもあります。

資料３

７ページ

　（17）について、昨年は『要援護者』だったものを『要配慮者』に変更した理由

回答：平成25年６月の災害対策基本法改正に伴い、高齢者・障がい者・乳幼児等の特に配慮を要する方のことを「要配慮者」と定義づけされたことを受けて、芽室町災害時要援護者支援体制整備事業実施要綱についても要援護者を要配慮者に改めたものです。（平成30年９月５日から施行し、平成30年か８月１日から適用）

８ページ　　※同様の質問が２件あり

1. 国保特定検診事業：特定検診事業
2. 国保特定検診事業：後期高齢者特定検診事業

実績値及び達成率が著しく低下していることについて

1. 実績値・達成率が低下した要因は何か。

（病院を受診していてそちらで検診をしている人が多いのか。）

1. 受診率60％で、効果があげられているとしてよいのか。
2. 2020年に対してどの様な向上対策を考えているのか。

回答：①昨年10月の消費増税による検診料金の改定に伴い、国保連合会からの請求の返戻が生じており、返戻分の受診者データが集計に反映されていないため実績値が少ないと考えられます。

※目標値の人数　65～74歳の国保被保険者推計人数（1,931人）×目標値

目標値：2018年度　約40％、2019年度　約45％、2020年度　約50％

②評価欄の60％は、特定検診を受診した被保険者のうち65歳以上の方の割合になります。

③未受診者に対する受診勧奨はがきの郵送を１回から２回へ増加、

　広報誌、チラシ折込、未受診者への電話・訪問等による受診勧奨の継続、

　特定検診受診料の自己負担金の見直し（2021年度以降の改定を目指す）

　を実施します。

　13ページ

　　（11）医療相談室運営事業

　　　相談、調整件数の低下の要因は。

　　回答：件数のみを比較した場合、800件程度の差がありますが、月平均では、2018(平成30)年度は395件、2019(令和元)年度は390件となり、前年同程度となっています。

　27ページ

1. 認知症サポーター養成事業

町内企業での実績はあるのか。

　　回答：令和元年度は事業所単位での申込はありませんでしたが、一般向け講座を開催する際に、いくつかの事業所に声掛けを実施した結果、数人の従業員の方の受講につながりました。住民団体に対する実施は1件ありました。

 令和２年度に向けては、従来の一般向け講座の他、事業所の職員研修としての実施についても働きかけしていきたいと考えています。

※30年度なし、29年度は４件（事業所等３件、町内会1件）

資料４

　１ページ

1. 自立支援、介護予防、重度化防止の推進　　総評の５行目

　体力増進教室等の参加人数の減少が、町民による活動団体への移行とのことですが、どのような団体に参加しているのか。

　回答：町が実施している、高齢者支援活動推進事業の登録団体数や活動人数が伸びていることから、趣味のサークルやスポーツ団体等で活動している方が増えていると考えられます。また、団体ではありませんが、65歳以上就労している方が増えているのも一因と考えます。

**（５）認知症初期集中支援チーム検討委員会…資料５**

事例のケースの年齢が高く、相談に来る以前はどのように生活をされていたのかが気になる。（症状出現～相談までの期間）

　回答：相談される前は、認知症の症状があっても家族や周囲が対応に困るほどの症状ではないため、身近な方の見守りのもと生活されていたと考えています。

　　　　相談のきっかけは、認知症の初期症状よりも被害妄想や徘徊などの症状が出現してからが多く、認知症の初期症状が出現してから数か月～２年ぐらい経過していると考えられます。

　　　　本人や周囲の状況等にもよりますが、今後も早期発見・早期治療の必要性について周知し、早期の対応を行っていきます。

**（６）令和元年度　地域包括支援センター事業報告**

**令和２年度　地域包括支援センター事業計画…資料６**

　　　質疑等なし

**その他意見**

全体

　　全般にわたり努力されていると思います。

資料４

1. 医療・介護の連携の推移　　総評の２行目

　研修・講演会の実施により効果が得られたことは大変良かったと思います。

　在宅医療に関心のある方も多いと思いますので、今後も情報発信をよろしくお願いします。

　　　資料６

1. 表２　介護予防支援事業の推移

　介護認定者の増加に伴い、ケアプランの作成数が増加している現状に、担当者の方のご足労に感謝しております。